

地域づくりの理念
や想いを届けます

令和4年度弘前リードマン派遣事業

- ◆弘前リードマン事業とは？ 次の弘前を担い、創り、地域づくり活動を実践する人を「弘前リードマン」に認定し、市民の皆さんのもとに派遣して、市民の皆さんが主役となって行う地域づくりの推進を図る事業です。
- ◆どんな人が利用できるの？ ①市内に在住・在勤・在学する人であること、②派遣先が原則市内で、会場の準備ができること、③10人以上の集まりであること、④営利、政治、宗教活動を目的としないこと
- ◆利用日と時間は？ 令和5年3月までの期間で、希望日時を設定して申し込みしてください。
- ◆会場は？ 会場の手配や準備、後片付け、会場費の負担、当日の進行などは、利用者をお願いします。
- ◆利用料は？ 基本的に無料です。ただし派遣先が市外の場合は、講師派遣にかかる交通費を負担

◆リードマンの活動内容

氏名	活動内容
 一條 敦子さん (ふれ〜ふれ〜ファミリー代表、メンタルケア心理士、食生活アドバイザー)	講演・ワークショップ＝“まちも人も、自分も好きになろう”をテーマとした「生活の中楽しさを見つけ出そう」…所要時間約1時間30分 ※他のテーマもあり。
 南 直之進さん (巨大アップルパイ世界に挑戦する会事務局長)	講演＝“社会貢献活動”をテーマとした「巨大アップルパイ」…所要時間約1時間
 片山 良子さん (エッセイスト)	講演＝“津軽〜ミル・シル・カタル”をテーマとした「津軽楽しや楽しや津軽」…所要時間約1時間30分
 清野 優美子さん (弘前地区生活改善グループ連絡協議会会長)	講演・調理実習＝“食育”をテーマとした「おふくろの味と袋の味」…所要時間約1時間30分
 樋川 新一さん (弘前アクターズスクール代表)	講演＝“夢(思い)と行動”をテーマとした「大好きなことで、誰かの役に立つ〜地方活性化を目指したアイドル達の実践〜」…所要時間約1時間30分
 八木橋 喜代治さん (ひろさき健康増進リーダー会会長)	講演＝“運動から始まる地域づくり”をテーマとした「健康長寿と運動〜筋力運動で認知予防〜」…所要時間約1時間30分
 相馬 勝さん (樋子町会総務部長、弘前市防災マイスター、防災士)	講演＝“防災から始まる地域づくり”をテーマとした「町会活性化と自主防災組織の必要性〜自分達の地域は自分達で守ろう〜」…所要時間約1時間30分
 三浦 吞龍さん (津軽錦絵作家協会会長)	講演＝“弘前ねぶたの魅力語る”をテーマとした「弘前ねぶたは伝統文化である(講話、作品紹介、制作実演など)」…所要時間約1時間30分
 今 廣志さん (音楽ネットワーク弘前顧問)	講演＝“クラシック音楽を身近に〜演奏と鑑賞〜”をテーマとした「気軽にクラシック音楽を楽しもう〜演奏活動での経験を通して」…所要時間約1時間30分
 黒部 能史さん (NPO法人弘前Jスポーツプロジェクト理事長)	①講演＝“スポーツによる地域活性化”をテーマとした「スポーツで弘前に夢と希望と感動を」…所要時間約1時間 ②ウォーキングサッカー体験…所要時間約1時間

してください。

- ◆申し込み方法は？ 「弘前リードマン派遣事業申込書」に必要事項を記入し、開催日の45日前までに、郵送か持参、ファクスまたはEメールで申し込みを。申込書は市民協働課や岩木・相馬の各総合支所に備え付けているほか、市ホームページからダウンロードできます。
- ◆必ず派遣できるの？ 予算の都合上、回数に制限がありますので、派遣できないことがあります。また、複数の申込者による合同開催や日程の調整などをお願いする場合があります。
- ◆その他 利用した感想を「弘前リードマン派遣事業利用報告書」で提出してもらいます。
- 問い合わせ・申込先 市民協働課(〒036-8551、上白銀町1の1、市役所2階、☎40-7108、ファクス35-7956、Eメールshiminkyoudou@city.hirosaki.lg.jp)

弘前城石垣修理

第19回 ～弘前城天守の耐震補強～

弘前城本丸石垣修理事業は2020(令和2)年より修理範囲のうち北側工区の積直し工事に着手しました(※1・2)。今年度は引き続き、16段のうち1～12段目の石垣積み直し作業を進め完成させるとともに、天守台石垣を含む南側工区の積直し工事に着手します。



▲積み直しが進む北側工区(令和3年8月)(※1)



▲石垣積直し工事の工区分け(※2)

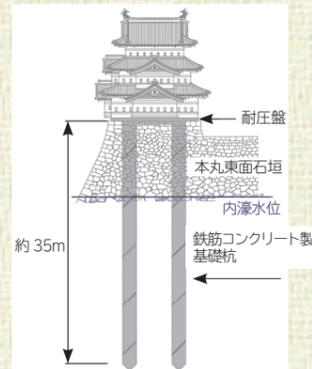
天守台石垣は当初、2019(令和元)年から積み直しに着手する予定でした。しかし2016(平成28)年の熊本地震など、全国各地で大きな災害が続いたため、文化財保護の観点から、弘前城跡でも天守周辺の耐震対策を行うよう文化庁より指導を受け、これまで天守および天守台石垣の耐震補強について検討を続けてきました。

検討にあたっては、石垣や建築等の専門家で組織した「弘前城跡本丸石垣修理委員会」の指導を受けた上で、文化庁との協議を進めました。結果、天守台付近の石垣(南側工区)が明治期に2度も崩落していることや、石垣の上に重要文化財指定の「現存天守」が載っているといった『弘前城跡の特異性』が考慮され、地下遺構への影響が軽微で、かつ天守本体の価値が守られる方法として、長さ約35メートルの鉄筋コンクリート製基礎杭4本を天守下の石垣内部に埋設し、それら基礎杭上に設置した耐圧盤に天守を載せるという、石垣に荷重をかけずに杭で天守を支える工法を採用することとなりました(※3)。

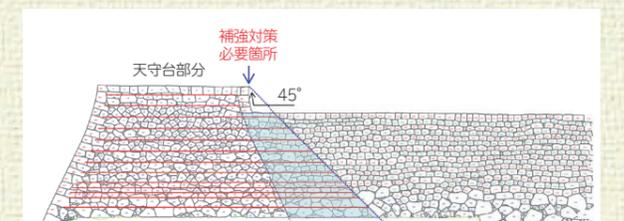
※弘前城本丸石垣修理事業の詳細(<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/ishigaki/index.html>) / 弘前城跡の文化財修理情報『弘前城かわら版』(<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/jubun/2022-0331-1107-48.html>)

■問い合わせ先 公園緑地課弘前城整備活用推進室(弘前公園緑の相談所内、☎33-8739)

また、天守への基礎杭設置の他に、天守台石垣に対する耐震補強として、石垣内部に合成繊維樹脂を敷設するジオテキスタイル工法を採用します(※4)。これらの対策により、天守は震度6強の地震にも耐える計算となり、文化財としての価値が末永く守られることとなります。



▲天守基礎耐震補強イメージ図(※3)



▲ジオテキスタイル工法範囲(赤線)(※4)

今後の工事スケジュールは、令和4年度に実施する天守基礎耐震補強に係る設計等で詳細が決まりますが、現時点ではおおむね次のとおりです。

年度	石垣工事		天守工事		備考
	北側工区	南側工区	基礎耐震補強	建物修理	
令和4年度	↓				設計(耐震基礎)
令和5年度		↓			
令和6年度			↓		
令和7年度				↓	天守曳戻し
令和8年度～				↓	設計(建物修理)

※工事の状況等により、変更となる可能性があります。

重要文化財「天守」を曳家(ひきや)した上で石垣を解体し、さらには天守基礎を耐震補強する大規模な工事は全国的にも事例がなく、今後も慎重な事業の推進が求められます。皆様のご理解とご協力をお願いします。